

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|----------|--------------|
| 園名 | 光明第七こども園 |
| 活動日時 | 2024.11.12 |
| クラス名（年齢） | 幼児クラス（3～5歳児） |
| 年間テーマ | 自然 |

1. 活動テーマ

《テーマ》

幼虫観察

《テーマの設定理由》

みんなのもりや園周辺で幼虫を見つけている子が多く、「これなんのようちゅう？」と保育者に尋ねる姿があったので気になるものをみんなで一緒に調べてみようという提案した。

2. 活動スケジュール

戸外遊び時に並行して行う

3. 探求活動の実践

《活動の内容》（活動のために準備した素材や道具、環境の設定）

戸外で散策しながら土の中や草むらから虫を見つけ、図鑑やタブレットを用いて虫の名前、生態を調べる。図鑑の使い方や調べ方を保育者が補助する。
・図鑑、タブレット、虫かご

《活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り》

戸外遊びで数人のこが虫探しに熱中する姿があった。「なんか虫いた！」と発見したことを保育者に興奮気味に伝えていた。「これなんの幼虫かな？」

室内に持って帰り図鑑を使って調べることに。数人の子が同じ幼虫を見つけたため空き箱の中に土を入れ保管した。箱のふたの上に置いてみると背中で動くことに気が付き「せなかであるいてる！」と友達に発見を共有していた。

保育者に幼虫は図鑑のどこに載っているか尋ねたので一緒にページをめくっていくと該当した写真を見つけ「これじゃない？」と子ども達で話していた。

読み方がわからず保育者に聞き、「ハナムグリ」の幼虫であることがわかった。



4. 振り返り

《振り返りにより得た保育者の気づき》

カブトムシやクワガタの幼虫は知っていたが、背中で這って移動する生態から、何か違う生き物だと推測している姿があり、それが子ども達の探求心を深めていた。また、名前や生態を知って満足するだけでなく、自分達が得た知識をさっそく友達にも見せたり話したりして、子ども間での情報共有のありかたも興味深いものがあった。